



大館バラまつり (6月15日)



このコーナーでは、市内各地で行われるイベントや市民の活動をご紹介します。皆さんの身近で行われる楽しい催しなどありましたら、市役所総務課広報広聴係(☎43-7025)までお知らせください。

田んぼアート (5月22日)

第41回本場大館きりたんぼまつりに向けて、古代米を使った田んぼアートの田植えが行われました。今年も、長木・雪沢小学校の5年生と、修学旅行で大館市を訪れていた札幌市の中学生の約100人が、手作業で昨年の倍ほどの面積の田植えに挑戦。降り注ぐ日差しの中、歓声を上げながら泥だらけになつての手植えを楽しんでいました。



思うように動けない!

矢立峠散策会 (5月26日)

新緑の矢立峠で散策会が行われ、参加者は「いにしへの街道」に思いをはせながら、森林浴を満喫しました。

この日は好天に恵まれ、市内外から約60人が参加。秋田杉の間を吹き抜ける風を感じながら、江戸時代から続く古道や明治天皇の巡幸に合わせて馬車道として造られた明治新道などをたどり、約4キロのコースを2時間半歩いて歩きました。



歴史の山道を散策

たけのこ祭り (6月9日)

第27回田代名産たけのこ祭りが田代多目的運動広場を会場に開催され、市内外から大勢の家族連れや団体など約7千人が来場しました。

10時の開会を前に、生タケノコとタケノコ汁の販売ブースには長蛇の列。生タケノコのブースでは、用意された約190袋が午前と午後の2回に分けられて販売、午前中は10分程度で完売の盛況ぶりでした。

また午前中は少し肌寒い天気だったため、たけのこ汁が飛びように売れ、たくさんの方が匂いの味に舌鼓を打ちました。

このほか、恒例の「たけのこ汁早食い競争」には山瀬小学校の児童2組を含む7組が参加し、タケノコがうまく口に入らず悪戦苦闘。



急いで味わって!



がんばって、お父さん

その後の「生たけのこ皮むき競争」でも、観客席からの大きな声援と笑い声が会場を盛り上げていました。